

第二十二回句会 俳句

【高点句】

- ☆乱れ打つ祭太鼓や子の真顔 〈眞澄〉  
☆噴水や空を恋ひ引力に負け 〈明美〉  
☆サングラス別人となる日もあらん 〈千恵〉  
☆不意に来て目を奪われる夏の蝶 〈一馬〉

【各自一句】

- ・サングラス外して紳士参拝す 〈童心〉  
・梶子の花遠くまでゆく手筈 〈文香〉  
・川風の明るくありぬサングラス 〈きさ〉  
・若人の汗講堂にジャズ響く 〈安津子〉  
・夏灯開票結果待つばかり 〈静〉  
・噴水の腰を折られて散る光 〈眞澄〉  
・夏帽子どこへ行こうか旅夢想 〈撫子〉  
・黄メッシュの小さき夏帽ベンチの上 〈莫院〉  
・造り滝積石壁をほとばしる 〈一馬〉  
・夏帽子今日は祖父母に手を引かれ 〈明美〉  
・睡蓮や仏の笑みの置きどころ 〈千恵〉  
・夏帽子見え隠れして友去りぬ 〈青蛙〉

\*以上、36句（3句ずつ12名）より、選句は13名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（同点の句がある場合は、第三位の句迄）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）